



文部科学省

地(知)の拠点

COC事業を始めとする様々な地域活動をお伝えする広報誌！！

杏林大学では2013年度に文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)に採択されました。「新しい都市型高齢社会における地域と大学の統合知の拠点」として、「生きがい創出」「健康寿命延伸」「災害に備えるまちづくり」の3分野を取り上げ、三鷹市、八王子市、羽村市の3市と連携事業を進めています。

この地域交流活動かわら版は、連携3市との様々な取り組みを「見える化」し、更なる地域交流活動を促進させることを目的としております。

地域交流活動かわら版

vol.12 2015/12/11
地域交流課



NEWS

中学生がキャンパスライフを体験！ 進路選択に関する総合学習として

11月5日(木)、八王子市立いずみの森小中学校第三中学校の生徒7名が来校し、体験授業や研究室見学、学生との交流を行いました。



山内先生

体験授業:

看護学科の山内亮子先生による聴診器を使った実習では、友達や自分の心音を聞いたり、理学療法学科の石井博之先生の講義では海外での理学療法活動について学びました。

語学サロン:

吉良アマンダ先生と簡単な英会話や、英語によるワードゲームを協力しながら取り組み、英語だけの時間を楽しんで体験していました。

研究室見学:

総合政策学部の進邦先生による講義が行われ、物事を決定する時のモノの捉え方、決定の仕方の分かりやすい解説があり、生徒たちからも驚きの声が上がっていました。

学生との交流:

外国語学部の学生4名に協力してもらい、共に昼食をとったり、キャンパスツアーを行いました。短い時間でしたが大変慕われ有意義な交流となりました。



進邦先生

生徒たちの言葉:

「すべてが新鮮でした」「看護師になりたい気持ちが増えました」「大学に早く行きたい」「大学生は目標があり、1人1人がとても輝いていた」など、将来を考える上で良い機会となったのではないのでしょうか。



学生との交流



石井先生



語学サロン

学生インタビュー ～行政に積極的参画～

本学学生が連携市の行政に参加しています。英語学科の近藤皓太さんが羽村市の行財政改革の次期計画の策定を目指す「羽村市行政改革審議会委員」に、また、観光交流文化学科の平山将成さんは三鷹市の総合計画改定に向けた市民参加の「まちづくりディスカッション」実行委員に参加しました。市の取り組みに積極的に関わった2人を直撃しました。

▶近藤 皓太さん

ゼミの取り組みとして、羽村市をフィールドワークとしていた近藤さんは、先生から紹介を受けて今回参加する事となりました。在住者ではない上に、市の様々な事業の話をする中で分からないことが多く、「初回は緊張で頭の中が真っ白！」と語ってくれました。今後毎月開催される審議会では、「次回からは積極的に学生目線での発言をしていきたい」と意欲深さが見られました。



並木市長より委嘱を受ける近藤さん

▶平山 将成さん

プログラム等計画段階から参加し、当日はコーディネーターとして取り組んだ平山さん。ディスカッションの時は皆緊張していて、口数少なく、話が上手く進まないこともあったようですが、「何気ないアイデアや感想などを言ってもらい、話しやすい環境を作ることを心がけた」とのこと。「他の人から意見を聞き出すことがこんなにも難しいとは思わなかった」「このような形で地域に関わることは今までなかったの、とても良い経験が出来ました」と話してくれました。



ディスカッションの進行をする平山さん

三鷹市ガイドマップ作りが始まりました

本学八王子キャンパスは来年度4月に三鷹市の井の頭キャンパスへと移転します。まだ三鷹市に馴染みのない学生たちが、三鷹市を知り、「三鷹市ファン」になって欲しいと、大学・三鷹市・三鷹観光協会との連携により、ガイドマップ作りが始まりました。

そこで今回、総合政策学部進邦ゼミ生、外国語学部古本ゼミ生たちによる商店街探索、まち歩きが行われました。これからの取り組みとして、若い感性に合った商店のピックアップ、インタビューによる魅力の掘り起しと、まだまだ作業が山積み。

新校舎に移転と同時に完成したマップを全学生・全教職員に配布します。みなさんぜひ学校周辺をはじめ、三鷹市“通”になってください。



◆かわら版についてのお問い合わせ
 杏林大学 地域交流課 渡辺・依田
 Tel 042-691-8725 (内1105)
 Fax 042-691-3809
 Mail area@ks.kyorin-u.ac.jp